

大分学習療法だより 第9号



2015年2月13日(金)、住友生命大分ビルにおいて、第9回大分学習療法研究会が開催されました。その様子をお届けいたします。

<プログラム>

◆大分学習療法研究会 首藤会長 挨拶

◆第1部

◎学習療法大分シンポジウムを終えて

昨年11月16日(日)別府市の立命館アジア太平洋大学ミレニアムホールで開催された「大分シンポジウム」の実行委員から意見や反省などの感想をお聞きしました。

◎「僕がジョンと呼ばれるまで」自主上映会を終えて

昨年12月12日(土)日田市のパトリア日田で上映した「僕がジョンと呼ばれるまで」の開催までの苦労や反省、感想などを実行委員の方々にお聞きしました。

◎SIB実証実験について

◆第2部

◎グループ討議

この1年間の活動や今年のチャレンジ、事業所の取り組みなど、交流を深める場

◆総括 吹田副会長

◆くもん学習療法センターより連絡事項

◆大分学習療法研究会会長 挨拶 (グランドホーム古国府 施設長 首藤毅志)◆

本日の研究会は、今年度の活動計画では最後の定例研究会です。この1年間の活動を振り返っていただき、皆様方から貴重なご意見をお聞きして、来年度からの活動計画に反映できればと思っております。

特に今年度は、福岡シンポジウム、大分シンポジウム、「僕ジョン」の自主上映会開催など、大きな行事を経験いたしました。

実行委員の皆様は、それぞれの成功を目指して大変ご苦労だったと思いますが、何よりも大事なことは、結果よりも過程です。今年の貴重な経験は、必ず成長につながっていると確信しておりますので、是非その思いを本日の研究会で整理していただき、互いの成長を確認する場にしていただければ幸いです。



◆第1部◆

◎学習療法大分シンポジウムを終えて、実行委員からの反省や感想 進行係 (グランドホーム古国府 吉良)

⇒会場の照明や音声などの調整は、大学側の管理業者にお願いしました。その担当の方との打ち合わせが2回程度しかなく不安だったけど、一人ひとりの動きが良くうまく進めることができた。

⇒駐車場やバス停から会場へ向かう参加者から、会場を示す看板が見づらかった為少し迷った方が数名いた。

⇒パソコン操作も初めてにしてはうまくいき、進行係としては、全体的にはスムーズに行われたと思う。

◆第1部◆

◎学習療法大分シンポジウムを終えて、実行委員からの反省や感想 来賓・講師対応（くもん学習療法センター 森園）



- ⇒講師や来賓の控室での対応では、一輪挿しを飾るなど、ちょっとした心遣いが行き届いていた。
- ⇒川島先生の講演時の立位置などは、当日に急きょ決まったが、すぐに対応ができていた。
- ⇒別府市長をお呼びできたことは、意義あることであった。
- ⇒リーダーはもちろんスタッフ一人ひとりの動きが良かった。
- ⇒少ないリハーサルで、よくできた。スタッフ全員が「何とか成功させたい」との思いがあったからでしょう。

⇒参加のお誘いに関することでは、導入施設や過去認定研修などの参加された事業所へも伺ったが、参加者が少なかったのは残念。

受付係（センテナリアン 石塚）

- ⇒くもんセンター始め、応援してくださる方が多くいたので問題なく受付作業ができたと思う。
- ⇒参加者名簿やパネルなどは、事前にできるだけ詳細に準備していたので、当日は戸惑うことなく対応できた。



駐車場係（ケアンションひだか 河津）



- ⇒大学側の守衛さんが慣れているようで、後半は守衛さんが手際よく処理してくれたので、苦勞することが少なかった。
- ⇒駐車場が2ヶ所に分かれていて、距離があるために、インカムで届かないこともあり、連絡に支障が生じた部分もあった。

事例発表者から（聖心園 川上 ケアンションひだか 河津、 和光園 千原、四季の郷DS 疋田）

- ⇒進行始め、スタッフの方々のおかげで緊張することなく発表できた。
- ⇒発表資料が期限までに間に合わず迷惑をおかけしたが、何とか発表できたことはよい経験となった。
- ⇒アンケートやシンポが終わってから、脳の健康教室に興味ある方がかなりいます。
- 地域に向けた認知症対策が強く求められていることを痛感した。



◆第1部◆

◎「僕がジョンと呼ばれるまで」自主上映会を終えて、実行委員からの反省や感想

ケアンションひだか 河津

⇒上映会が決定したとき、本当にできるのか不安だったが、他の事業所の方々との協力のおかげでうまく行ったと思うし、何よりも楽しかった。
⇒チケットを販売することについては、大変だった。



センテナリアン 石塚

⇒上映会開催に向けて、他の施設の方との交流が深まったことが良かった。

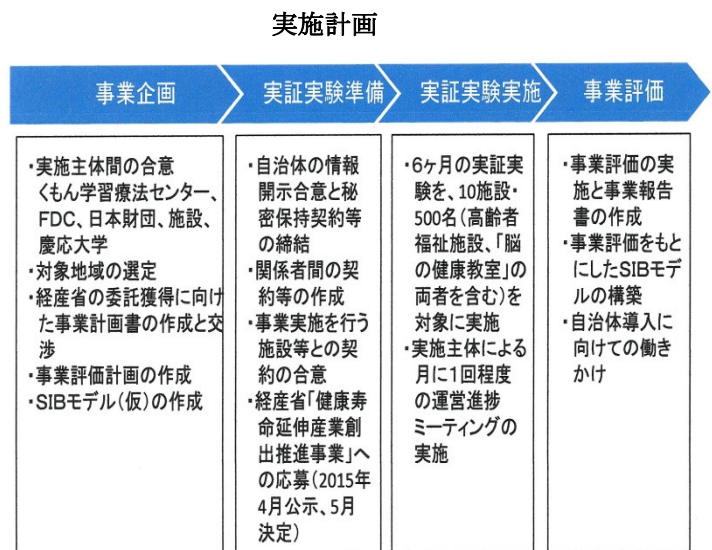
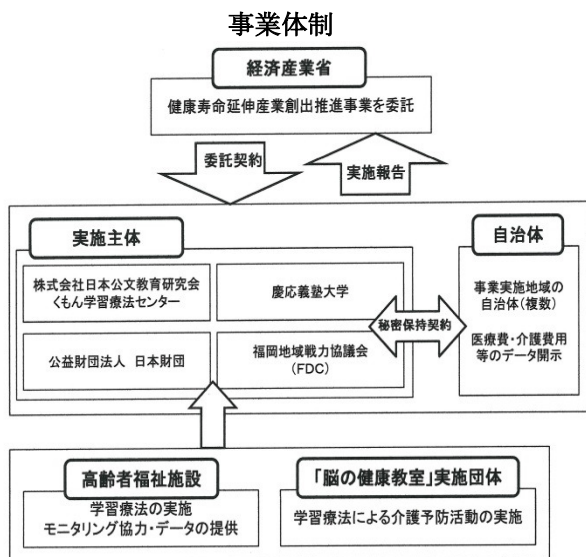
センテナリアン 諫山（当日は都合で欠席でしたがお手紙でいただきました）

⇒チケットが初めて売れた時は、本当にうれしかった。
⇒上映会の日が近づくにつれて、来ていただけるのか不安でしたが、当日の朝から多くの方々に来ていただき、ほっとしました。
⇒学習療法を導入していたおかげで、「上映会を成功させよう」という一つの目標に向かって動くことができたのは、貴重な経験となりました。

◎S I B実証実験について（首藤会長）

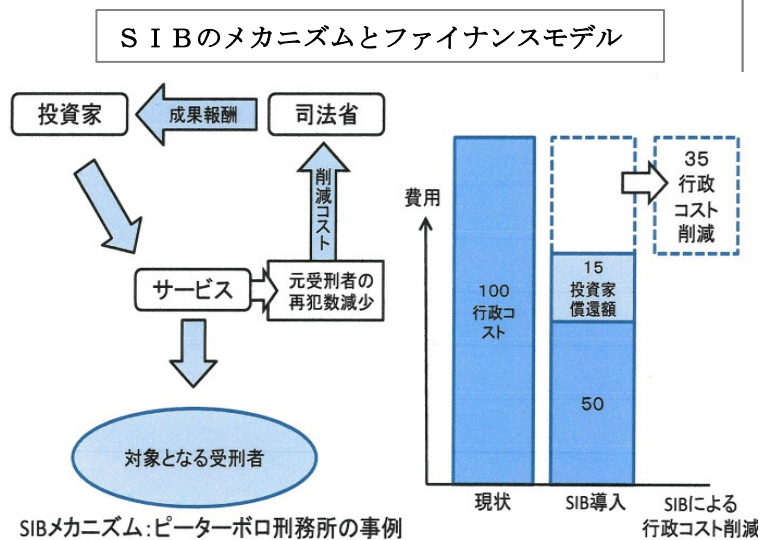
学習療法の経済的な効果を確認するために、経済産業省の委託事業である「健康寿命延伸産業創出推進事業」として実施する計画があります。また、同時に2016年度以降の認知症予防領域での*ソーシャル・インパクト・ボンド（S I B）実証実験としても実施されます。その概要について、首藤会長から説明がありました。

実施方法としては、くもん学習療法センターが選定した実践モデル施設で、学習療法及び脳の健康教室を6ヶ月間実施し、その効果を介護費及び医療費に換算して検証するもの。

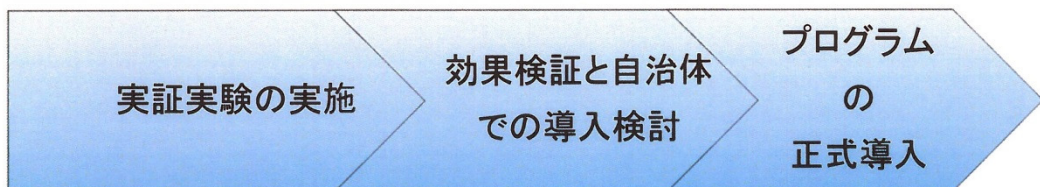


* ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)とは？

- 2010年に英国で開発された、受刑者の再犯防止プロジェクトのことで、米国やオーストラリア等でも導入されている官民連携の社会的投資モデル（下図参照）
- 英国では、ピーターボロ刑務所において、1年間のプログラム実施で8.4%の再犯率低減を実現した
- 仕組みは、投資家が資金を提供してプログラムを実施し、削減された財政支出と運などの事業成果に応じて政府等が投資家へリターンを支払うというもので、成果が上がらなければ支払いはないことから、政府はリスク無く財政支出の削減と革新的な公共サービスの提供が可能となる
- 日本財団でも、2014年から自主事業として、案件開発に取り組んでおり、2015年に若年就労や児童養護、高齢者介護等の事業実施予定がある
- 経済産業省の委託が取れなかったとしても、日本財団が資金を出して事業を実施する



S I B 導入スケジュール



実施時期	2015年度	2016年度	2017年度
実施主体	公文教育研究会 福岡地域戦略推進協議会 日本財団 慶応義塾大学	公文教育研究会 福岡地域戦略推進協議会 日本財団 慶応義塾大学	自治体 福岡地域戦略推進協議会 公文教育研究会 日本財団
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・経産省の委託事業として学習療法事業の実施 ・福岡県自治体を含む複数自治体において実証実験を実施 ・FDC、日本財団がコーディネート ・慶応大学が初歩的なインパクト評価を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・先の実証実験についての報告書をもとにした、複数自治体でのSIB導入への働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部投資家について検討 ・日本財団、あるいはFDCが中間支援組織としてSIBスキーム組成実施

◆第2部◆ グループ討議

3つのグループに分かれ、大分シンポジウム、僕ジョン上映会に限らず、自施設の悩み、問題点などについてグループ討議を行いました。

⇒S I B実証実験の計画があることを知り、学習スタッフとして正しい進め方を再確認しなければならなかった。この機会に学び直したい。

⇒シンポジウムや自主上映を開催したことで、学習療法に興味のある方がたくさんいることが分かった。まだまだ知らない人もいるので、もっと広めていかなければと思った。

⇒導入してから1年を過ぎたところだが、研究会を始めいろんな研修に参加して、しっかりと学んでいきたい。



⇒冬はインフルエンザなど感染症が発生する時期で、専用の教室で実施することができず、居室に訪問して実施したところ、学習者以外の方から「こっちにも来て」と声をかけられ、興味をもっていただくことができた。

⇒先日90歳を過ぎた学習者が亡くなりました。ご家族へのお手紙を作っていたのですが、お送りするのが遅かったことが悔やまれました。今後は、できたらすぐに送ることを心がけたいと反省しました。

⇒認知症対応型のデイサービスで、学習時間は利用者の状態にあわせて不定期に実施しているためスタッフの体制に苦労をしている。計画的に進めることが大事だと分かった。

◆学習療法センターからの連絡◆ 大分担当 森園

大分シンポジウムに参加された方々で学習療法に興味を示す事業所へ参加のお礼とご案内に動いています。県内50件以上あり、今後フォローしていくところなどが報告されました。

◆総括◆ 吹田副会長(和光園 事務長)

大分シンポジウムは、実行委員同士の連携がよくとれていたことで、成功したと思います。さらに、参加していただいた方々に、受付で励まされたことで不安な気持ちを解消することができました。僕ジョンの自主上映会が成功したことについても同じことで結果よりも成功へ向かうプロセスの重要性を強く感じました。

自主上映については、宇佐・中津地区で和光園といずみの園が主体で11月14日(土)に開催する予定です。日田に続き成功できますよう、皆様のご協力をお願いします。

◆次回の予告◆

次回、第10回大分学習療法研究会は、期日と場所は未定ですが、4月中旬に定期総会を開催いたします。

平成26年度の活動報告と会計報告、平成27年度の活動計画及び予算案を審議していただきます。

詳細が決まり次第ご案内いたします。

◆お知らせ◆

映画「僕がジョンと呼ばれるまで」自主上映会

日田市での自主上映会が成功のうちに幕を閉じましたが、後に続けと、本年11月に宇佐・中津地区で上映予定です。

期日：平成27年 11月14日(土)の予定ですが、場所と上映時間、上映回数はこれから打合せしていきます。

アメリカの介護施設で行われた、おばあちゃんたちのチャレンジ。認知症の方が人生を輝かせるヒントがこの映画にあります。公式サイトもご覧ください。 <http://www.bokujohn.jp/>



《学習療法研究会へのお誘い》

「大分学習療法研究会」は、学習療法を導入・実践されている施設の皆さまが集まり、学びあう交流の場です。まだ参加されたことのない施設の皆さま、これから導入をお考えの事業所様も是非ご参加ください。同じ志を持った多くの仲間と出会うことができます！